



来年度「休校」が決まる ～今、思うこと～

11月29日(木)に、大竹市教育委員会の地域説明会がありました。昨年度9月に大竹市教育委員会が早期「休校」の方針を打ち出し、これまでに数回の意見交換会を経て、この日、最終的に来年度「休校」と決まりました。この春、赴任してきたばかりの私としては複雑な思いです。

学校が大好きと言ってくれる子どもたち、暖かく支えて下さる保護者・地域の皆様に囲まれて仕事ができることに大なる喜びを感じています。その一方で、子どもたちが未来を切り開くために必要な資質・能力を育成することが十分行えているだろうかという心配もあります。

新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で、深い学び」がキーワードになっています。それは集団を基本にした「学び」です。一人では解決できないことを、仲間と協働的に解決していくことの大切さを意味します。学習面だけでなく、生活面においてもです。

人が3人以上集まると社会ができると言います。子ども同士の仲間という小さな社会から、学級・学校・職場、町民・市民・県民、そして日本・世界という大きな社会へ。子どもたちは成長していくに連れて、たくさんの人と出会い、大きな社会の一員として生きていくこととなります。私たちがそうであったように。

3名とも、来年度は今より少し広い社会へ踏み出すこととなります。その時に、決して下を向くことがないよう、自信をつけて送り出したいと考えています。あと4ヶ月ですが、この栗谷小でいっしょに学び、たくさんの思い出をつくっていきましょう。

図書^{やくもとみつあき}の寄贈116冊 ～葉本光明様、ありがとうございました～

11月19日(月)に、三原にお住まいの葉本光明さんより、書籍116冊、将棋盤・駒2セット、小倉百一首1セット、計134,533円分を寄贈していただきました。葉本さんは昭和48年(1973年)からこのような活動を始められ、本校は442校目だそうです。葉本さんとは3年前に私が勤務していた福山市の小学校でお会いしており、広島県の東と西の両方でご縁があったことをうれしく思いました。

本校への寄贈については、昨年度、平野早百合前校長先生との交渉によるもので、児童数が少ないにもかかわらず、1年生用と6年生用の本をたくさんチョイスしてくださいました。一部を紹介します。

	読み聞かせ絵本全14巻
一	10分で読めるお話一年生
年	10分で読める名作一年生
生	10分で読める物語一年生
	なぜどうして一年生
	なぜかがくのお話
六	まんが日本の歴史全23巻
年	英語がすきになる
生	ハリーポッター20巻
	僕らのミステリタウン11セット
	勉強が好きになる
	10分で読める伝記



栗谷スポーツフェスティバルに参加して ～みんな笑顔いっぱい～

11月17日(土)、栗谷地区の体育指導員(カープのユニフォーム)を中心に、本校体育館で栗谷スポーツフェスティバルが行われました。これは9月30日の「小学校・町民合同運動会」が中止になったために、企画された町民ミニ運動会です。私は地域のエネルギーを肌で感じたく思い、参加させていただきました。

種目は、①ビーチボールバレー、②玉入れ、③かけっこ、④魚釣りリレー、⑤室内グランドゴルフ、⑥ラージボール卓球、⑦大縄跳びの7種目です。

この日のために帰省された親子や、卒業した中高生も集まり、たくさんの方とお会いすることができました。ラージボール卓球の試合前には、それぞれの地区でメンバー紹介が有り、「〇〇の息子さんです。」「〇〇屋の孫です。」など人とのつながりがわかる楽しい紹介でした。

私は①②⑥の3種目参加し、景品をいただきました。地域のみなさんの笑顔がたくさん見ることができた半日でした。体育指導員のみなさん、お疲れ様でした。そして楽しい会をありがとうございました。

